

# 資 料

**男女共同参画社会の実現にむけての  
市民意識調査**

**平成27年7月**

**豊岡市**

**I まず、あなた自身のことについてお答えください。※該当する番号を○で囲んでください。**

1. あなたの性別についてお答えください。(1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

2. あなたの年齢についてお答えください。(1つだけ)

- |        |          |        |        |
|--------|----------|--------|--------|
| 1. 20代 | 2. 30代   | 3. 40代 | 4. 50代 |
| 5. 60代 | 6. 70代以上 |        |        |

3. あなたの現在のお住まいについてお答えください。(1つだけ)

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1. 豊岡地域 | 2. 城崎地域 | 3. 竹野地域 |
| 4. 日高地域 | 5. 出石地域 | 6. 但東地域 |

4. あなたの結婚経験の有無についてお答えください(事実婚を含む)。(1つだけ)

- |           |                 |             |
|-----------|-----------------|-------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚したが離別・死別した | 3. 結婚の経験はない |
|-----------|-----------------|-------------|

5. あなたの家族構成(回答者本人を含めて)についてお答えください。(1つだけ)

- |               |         |           |
|---------------|---------|-----------|
| 1. 一人暮らし      | 2. 夫婦のみ | 3. 夫婦と子   |
| 4. 一人親と子      | 5. 夫婦と親 | 6. 夫婦と親と子 |
| 7. その他[具体的に]( |         | )         |

6. あなたの職業についてお答えください。(1つだけ)

- |                |              |                      |
|----------------|--------------|----------------------|
| 1. 自営業主・家族従業者  | 2. 常勤の勤め人    | 3. 自由業(医師・税理士・塾講師など) |
| 4. パート・アルバイト勤務 | 5. 内職        | 6. 専業主婦(主夫)          |
| 7. 学生          | 8. 無職(6、7以外) | 9. その他[具体的に](        |

7. あなたの配偶者の職業についてお答えください。(1つだけ)

※配偶者のある方のみお答えください。

- |                |              |                      |
|----------------|--------------|----------------------|
| 1. 自営業主・家族従業者  | 2. 常勤の勤め人    | 3. 自由業(医師・税理士・塾講師など) |
| 4. パート・アルバイト勤務 | 5. 内職        | 6. 専業主婦(主夫)          |
| 7. 学生          | 8. 無職(6、7以外) | 9. その他[具体的に](        |

8. あなたは本市に住んで何年になりますか(1つだけ)

- |         |                  |                   |          |
|---------|------------------|-------------------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上<br>10年未満 | 3. 10年以上<br>20年未満 | 4. 20年以上 |
|---------|------------------|-------------------|----------|

II 男女の役割分担意識についてお答えください。※該当する番号を○で囲んでください。

9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(1つだけ)

1. <u>そう思う</u>	2. <u>そうは思わない</u>	3. <u>わからない</u>
↓	↓	↓
<u>10-アへ</u>	<u>10-イへ</u>	<u>11へ</u>

10-ア. (9の質問に「1」と答えた方だけお答えください。)

あなたがそのように思われる理由は何ですか。(1つだけ)

1. 男性は外の仕事に、女性は家事・育児に適している
2. 男女の役割を固定した方が、家庭生活がうまくいく
3. 長年の考え方(価値観)だから尊重したい
4. その他[具体的に]( )

10-イ. (9の質問に「2」と答えた方だけお答えください。)

あなたがそのように思われる理由は何ですか。(1つだけ)

1. 男女の固定的な役割にこだわってはいは社会の変化に適應できない
2. 性にかかわらず個性を發揮すればよいことであり、固定する必要はない
3. 家庭においても社会においても、男女ともに自立することが望ましい
4. その他[具体的に]( )

11. 家庭での男女の役割分担について、あなたの家庭ではどうなっていますか。(1つだけ)

1. 男は仕事、女は家事・育児を分担している
2. 女は仕事、男は家事・育児を分担している
3. 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担している
4. 男女とも仕事をし、家事・育児は主に男が分担している
5. 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している
6. 男女とも仕事をし、家事・育児は第三者(親族やヘルパーなどの公的サービス)の協力も頼んでいる
7. その他[具体的に]( )

12. では、家庭での男女の役割分担について、あなたは本来どうあるべきだと思いますか。

(1つだけ)

1. 男は仕事、女は家事・育児を分担する
2. 女は仕事、男は家事・育児を分担する
3. 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担する
4. 男女とも仕事をし、家事・育児は主に男が分担する
5. 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する
6. 男女とも仕事をし、家事・育児は第三者(親族やヘルパーなどの公的サービス)に任せる
7. その他[具体的に]( )
8. わからない

13. あなたの家庭では、家庭における男女の役割分担について話し合ったことがありますか。  
(1つだけ)

- |               |   |
|---------------|---|
| 1. 話し合ったことがある |   |
| 2. 話し合ったことはない |   |
| 3. その他[具体的に]( | ) |

14. 男性は女性に比べ、家庭生活(家事、子育てや教育、介護など)や地域活動(社会福祉、生涯学習、消費者活動など)に参画することが少ないといわれますが、今後、男性が女性とともに積極的に参加していくために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内)

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1. 男性の家庭生活や地域活動への参加を進めるための啓発活動       |   |
| 2. 男性の家庭生活や地域活動への参加をしやすくするための学習機会の創出 |   |
| 3. 労働時間の短縮                           |   |
| 4. 事業所との協力のもと、両性の仕事と家庭の両立を支援する体制の整備  |   |
| 5. 男性の家庭生活や地域活動への参加を進める必要はない         |   |
| 6. その他[具体的に](                        | ) |
| 7. わからない                             |   |

### Ⅲ 子育て観・少子化についてお答えください(子どものいない方もお答えください)。

※該当する番号を○で囲んでください。

15. 子どもを育てる場合、あなたが男の子と女の子の区別を意識するとしたら、それを感じる時(または感じたとき)はどんなときですか。(2つ以内)

- |               |                   |   |
|---------------|-------------------|---|
| 1. 家事の手伝い     | 2. 子どもの進路・将来      |   |
| 3. 学業や成績      | 4. 作法・門限など生活上のしつけ |   |
| 5. その他[具体的に]( |                   | ) |
| 6. 区別することはない  | 7. わからない          |   |

16. あなたは、子どもはどのように育てるべきだと思いますか。(1つだけ)

- |  |   |
|--|---|
| 1. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい                            |   |
| 2. なるべく同じように育てたほうがよいと思うが、ある程度は男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい |   |
| 3. 性別を意識せず育てた方がよい                                      |   |
| 4. その他[具体的に](  | ) |
| 5. わからない   |   |

17. 現在、わが国では少子化(女性が一生に産む子ども数の減少)が進んでいますが、あなたは、その原因は何だと思われますか。(3つ以内)

1. 子どもの教育費負担など、主に経済的理由による
2. 家が狭いなど、住宅環境による
3. 育児に自信が持てないなど、心理的・精神的な不安感による
4. 男女が共に働きながら子育てできる、地域や職場などの育児環境が整っていないから
5. 家庭において性別役割分担意識が残っているから
6. その他[具体的に]( )

**IV 日頃の生活における優先度についてお答えください。※該当する番号を○で囲んでください。**

18. あなたの生活はどのタイプだと思いますか。(1つだけ)

1. 仕事優先型
2. 家庭優先型
3. 個人優先型
4. 地域社会優先型
5. その他[具体的に]( )

19. あなたは仕事と生活(家庭生活、個人の生活)の調和を進めることで、どのような効果があると思いますか。(2つ以内)

1. 時間にゆとりをもった豊かな生活ができる
2. 家族や大切な人との絆が深まる
3. 地域活動などに積極的に参加できる
4. 生活にとって影響はない
5. 社員の労働意欲が高まり、企業の生産性があがる
6. 社員の労働意欲に影響はない
7. その他[具体的に]( )
8. わからない

**V 女性と仕事についてお答えください。※該当する番号を○で囲んでください。**

20. 女性が仕事を持つことについて、あなたはどのように思われますか。(1つだけ)

1. 結婚や出産後も、仕事を継続できることがよい
2. 出産・育児期間は一時的に仕事を離れ、子育てを終えてから再就職するのがよい
3. 結婚または出産で仕事をやめ、あとは家事・育児に専念するのがよい
4. 女性は仕事を持たないほうがよい
5. その他[具体的に]( )

21. 女性をもっと働きやすくなるために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内)

1. 性別役割分担意識をなくす 2. 家庭における夫や家族の理解や協力 3. 職場における理解や協力 4. 労働時間の短縮 5. 賃金や仕事内容、昇進・昇格など労働条件面での男女差の是正 6. 老親などを介護するための介護休業制度の充実 7. 高齢者介護のための公的サービスや福祉施設などの整備・充実 8. 出産・育児休業制度の充実と男性の育児休業制度の利用促進 9. 学童保育や乳幼児保育などの育児環境の整備・充実 10. いったん仕事をやめた後、再び同じ会社に復帰できる再雇用制度の導入・普及 11. 女性自身の能力と仕事への意欲・責任感の向上 12. 特に必要なことはない 13. その他[具体的に]( )
--

**VI 男女の人権についてお答えください。※該当する番号を○で囲んでください。**

22. あなたは、自分が他からどのように見られているのかではなく、あなた自身がどのように思っているかでお答えください。

※それぞれ1つだけ、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない
1. いろいろな良い素質を持っている	1	2	3	4	5
2. 自分は何をしても、だめな人間だと思うことがある	1	2	3	4	5
3. 自分は人とうまくやっていける人間だと思うことがある	1	2	3	4	5
4. 人生は、どんなに努力してもうまくいかないことが多い	1	2	3	4	5
5. 自分は周りの人から期待されていないと思うことがある	1	2	3	4	5
6. 自分には、自慢できるところがあまりない	1	2	3	4	5
7. 困難な時でも、何とかやり遂げることができると思う	1	2	3	4	5
8. どんな時でも、自分を受け入れ、認めてくれる人がいる	1	2	3	4	5

23. 次の女性に関する事柄で、あなたが**人権の観点から最も問題がある**と思われるのはどのようなことですか。(上位3つ以内)

- |  |
|--|
| 1. 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)を他の人に押しつけること    |
| 2. 職場における差別待遇                                  |
| 3. 地域の諸団体などの役職に女性が少ないこと                        |
| 4. 家庭内における夫の妻への暴力(酒に酔って殴るなど)                   |
| 5. 職場における肉体的・精神的なセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)         |
| 6. 売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)                        |
| 7. 内容に関係なく女性の水着姿、裸体やこびたポーズなどを使用した広告・雑誌・新聞・映像など |
| 8. 風俗営業  |
| 9. その他[具体的に]( )                                |
| 10. 特になし                                       |

24. あなたは、「男もつらい」と感じる(思う)とき、その主な理由は何ですか。(3つ以内)

※男女問わずお答えください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 男だからとがんばることを強要される        |
| 2. 自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある   |
| 3. 妻子を養うのは男の責任であると言われる      |
| 4. 仕事の責任が大きい、仕事できて当たり前と言われる |
| 5. 家族と共に過ごせる時間が少ない          |
| 6. 男なのに酒が飲めないのかとからかわれる      |
| 7. 力が弱い、運動が苦手だとバカにされる       |
| 8. 身辺(生活雑事)の自立が困難で、生活が不便である |
| 9. その他[具体的に]( )             |
| 10. 感じることはない                |

25. 24の質問の理由を受けて、あなたは**どうすればいい**と考えますか。(1つだけ)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 固定概念から自由になり、性別に左右されない生き方をする      |
| 2. 「つらい」けれども、男だから仕方がない(このままでいい)     |
| 3. 「つらい」けれども、それが男らしい生き方(あり方)である     |
| 4. 社会を背負って立つのが男の生き方であり、変える必要はまったくない |
| 5. その他[具体的に]( )                     |
| 6. わからない                            |



26. あなたは、これまでに配偶者、パートナー、恋人から次のようなことをされたことがありますか。

※それぞれ1つだけ、数字を○で囲んでください。

	何 度 も あ っ た	時 々 あ っ た	ま っ た く な い
1. 命の危険を感じるくらいの暴行を受ける	1	2	3
2. 医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	1	2	3
3. 医師の治療を必要としない程度の暴行を受ける	1	2	3
4. あなたが嫌がっているのに性的な行為を強要される	1	2	3
5. あなたは見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	1	2	3
6. 何を言っても無視され続ける	1	2	3
7. 交友関係や電話を細かく監視される	1	2	3
8. 「誰のおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われる	1	2	3
9. 生活費を渡されない	1	2	3
10. 大声で怒鳴られる	1	2	3

27-ア. (26の質問にひとつでも「1」又は「2」と答えた方はお答えください。)

あなたはその時にどうしましたか。(1つだけ)

- |  |
|--|
| 1. 黙って我慢した<br>2. 家族や親しい人に相談した<br>3. 専門の相談窓口相談した (例: 豊岡市社会福祉課、兵庫県女性家庭センター)<br>4. その他[具体的に]( ) |
|--|

27-イ. (27-アに「1」と答えた方だけお答えください。)

あなたは専門の相談窓口があることを知っていますか。(1つだけ)

- |                     |
|---------------------|
| 1. 知っている<br>2. 知らない |
|---------------------|

28. あなたは職場で次のようなことをされたことがありますか。(該当するものすべて)

- |   |
|---|
| 1. 昇進や昇格又は降格や減俸を示唆されて、上司に何か強要される<br>2. 無理な仕事量を押しつけられる<br>3. 無視される<br>4. 上司の意見に反対して怒られる<br>5. ミスを大人数の前で指摘される<br>6. 仕事を全く与えられない<br>7. その他[具体的に]( )<br>8. 特にない |
|---|

29-ア. (28の質問に「8」以外と答えた方はお答えください。)

あなたはその時にどうしましたか。(1つだけ)

1. 黙って我慢した
2. 家族や親しい人に相談した
3. 専門の相談機関に相談した (例: 労働基準監督署、兵庫労働局総合労働相談コーナー)
4. その他[具体的に]( )

29-イ. (29-アに「1」と答えた方だけお答えください。)

あなたは専門の相談窓口があることを知っていますか。(1つだけ)

1. 知っている
2. 知らな

30. あなたは、女性に対する暴力(夫等から妻等に対する暴力、セクシャル・ハラスメント、性犯罪など)

をなくすために、特に必要なことは何だと思えますか。(3つ以内)

※男女問わずお答えください。

1. 女性に対する暴力は人権侵害だという、社会的な認識を高める
2. 男性優位の価値観を改める
3. 子どものときから、男女平等や自尊感情、性に関する教育を充実する
4. 女性が経済的に自立する
5. 「配偶者暴力防止法」や「ストーカー規制法」などを十分に知らせる
6. 犯罪としてもっと厳しく取り締まる
7. 被害女性のための相談機関や保護施設を充実する
8. 加害者に対するカウンセリングなどの対策を充実する
9. 相談や支援に関する情報提供を進める
10. その他[具体的に]( )

## Ⅶ 政策・方針決定過程への女性の参画についてお答えください。

※該当する番号を○で囲んでください。

31. 政治や行政、さまざまな組織において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画の割合が低いといわれていますが、その理由は何だと思えますか。(2つ以内)

1. 家族、職場、地域、学校における性別役割分担、性差別の意識
2. 女性を積極的に登用しようという男女共同参画意識の啓発・学習が足りない
3. 家族の支援・協力が得られない
4. 女性の能力開発の機会が不十分
5. 女性の活動を支援する施策やネットワークの不足
6. 女性側の積極性が十分でない
7. その他[具体的に]( )
8. わからない

**Ⅶ 地域(区)における男女共同参画についてお答えください。※該当する番号を○で囲んでください。**

32. あなたが住んでいる地域(区)では、会合などに誰が参加していますか。(1つだけ)

- |                           |           |             |             |
|---------------------------|-----------|-------------|-------------|
| 1. 世帯主(男)                 | 2. 世帯主(女) | 3. 世帯主以外(男) | 4. 世帯主以外(女) |
| 5. 特に決まっていない(空いている者が参加する) |           |             |             |

33. 地域行事や会合に参加する男女の割合に格差があると言われますが、その原因は何だと思いますか。(2つ以内)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 性別によって役割が違うという思い込み   |
| 2. 社会的なしきたりや習わし         |
| 3. 身体的・生理的な差            |
| 4. 女性に対する社会・文化的につくられた偏見 |
| 5. その他[具体的に]( )         |

**Ⅷ 男女共同参画社会の実現についてお答えください。※該当する番号を○で囲んでください。**

34. 今後、男女共同参画社会実現のために、豊岡市は何に力を入れていくべきだと思いますか。(3つ以内)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 本市職員における女性管理職の割合を高める               |
| 2. 女性を各種委員会や審議会などの政策・方針決定の場に積極的に登用する  |
| 3. 地域の各種団体の女性リーダーの割合を増やす              |
| 4. 職場における男女の均等な待遇について事業所等に働きかけを行う     |
| 5. 女性の職業教育や職業訓練を充実させ、女性の就労の機会を増す      |
| 6. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる |
| 7. 学校における人権や男女平等、性についての教育を充実させる       |
| 8. 男女共同参画推進に向けた学習活動拠点を充実させる           |
| 9. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と共同参画について啓発する   |
| 10. 特に対策の必要はない                        |
| 11. その他[具体的に]( )                      |
| 12. わからない                             |

《自由記述欄》

男女の生き方や家庭・仕事・地域のあり方、男女共同参画推進に係る施策などへの意見をご自由にお書きください。

あなた（個人）が男女共同参画社会の実現に向けて取るべき行動は何だと思えますか？  
ご自由にお書きください。

ご協力ありがとう  
ございました！！



豊岡市マスコット 玄さん



# 男女共同参画社会の実現にむけての 事業所調査

平成27年9月

豊岡市



問4 【問3】で、女性管理職の割合が10%未満となった方にお尋ねします。(それ以外の方は、【問5】へ進んでください。)

女性管理職が少ない(または、いない)原因として考えられる理由は何ですか。※あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 正規雇用の女性従業員が少ない、または、いないから
2. 管理職に必要な知識と経験を有する女性が少ない、または、いないから
3. 女性は家庭の事情(出産・育児など)で管理職になるまでに退職するから
4. 管理職の業務はハードで、女性には向いていないから
5. 女性従業員に管理職になるための教育訓練を行っていないから
6. 女性従業員自身が管理職に就くことを希望しないから
7. 上司、同僚、部下となる従業員が女性管理職に抵抗があるから
8. 特に理由はない
9. その他( )

問5 貴社では、「ポジティブ・アクション」(\*)に取り組んでいますか。

どちらかの番号に○をつけてください。

1. 取り組んでいる (→【問6】へ)
2. 取り組んでいない (→【問9】へ)

\*「ポジティブ・アクション」とは、「固定的な性別による役割分担意識に根ざすこれまでの制度や慣行が原因となって、雇用の場において男女労働者に事実上の格差が生じているとき、それを解消しようと企業が行う自主的かつ積極的な取り組み」

問6 【問5】で、「1. 取り組んでいる」とお答えの方にお聞きします。具体的な取り組み内容はどのようなものですか。※あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 女性の登用や人材育成に関する具体的な計画や方針がある
2. 女性の少ない職種や職務に女性を配置するように努めている
3. 女性の管理職の登用を積極的に行っている
4. 性別による評価をすることのないよう人事基準を明確にしている
5. 業務に必要な知識や資格取得のための教育訓練や研修を性別に関係なく実施している
6. 女性が提案や発言をしやすいよう配慮している
7. 仕事と家庭の両立のための支援制度を整備している
8. 男女の固定的な役割分担意識による慣行の見直しを行っている
9. 男女平等について、社内の意識改革に努めている
10. 男性の育児休業取得の推進を行っている。
11. 相談窓口を設置している
12. その他( )



問7 【問5】で、「1. 取り組んでいる」とお答えの方にお聞きします。

そのきっかけは何ですか。※あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. トップの方針
2. 男性従業員からの要望
3. 女性従業員からの要望
4. 労働組合からの要望
5. 他社の事例を参考にして
6. 法律(男女雇用機会均等法、育児・介護休業法への対応として)
7. その他( )

問8 【問5】で、「1. 取り組んでいる」とお答えの方にお聞きします。貴社が取り組みを実施し、どのような成果がありましたか。※あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 女性従業員の労働意欲が向上した
2. 男性が女性を対等な存在としてみるようになった
3. 取引先や顧客からの評判が良くなった
4. 優秀な人材を採用できるようになった
5. 組織が活性化された
6. 生産性の向上や競争力の強化につながった
7. 目立った成果はなかった
8. 従業員又は取引先からの理解が得られず、かえってマイナスとなった
9. その他( )

回答後は⇒【問10】へお進みください。

問9 【問5】で、「2. 取り組んでいない」とお答えの方にお聞きします。取り組んでいない理由は何ですか。※あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 女性が早く退職してしまうから
2. 人件費や就業環境の整備等に費用がかかるから
3. 女性は家事、育児等の家庭生活のために配置や時間外労働に制約があるから
4. 女性従業員自身が昇進を望まないから
5. 男性従業員の認識、理解が不十分であるから
6. トップの認識、理解が不十分であるから
7. 女性従業員が少ない、または、いないから
8. 現状で問題がないから
9. 取り組み方が分からないから
10. その他( )







4. 休業取得に対する上司や同僚の理解浸透
5. 個人の努力
6. 家族のサポートや家族の意識改革
7. 仕事と家庭の両立支援制度利用率の向上
8. 保育園等、社会的サポート体制の充実
9. 行政による経費補助
10. 経営者や管理職の意識改革
11. その他 ( )

問 21 仕事と家庭の両立支援制度の利用を促進しようとする場合、どのような問題があると思いますか。※あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 日常的に労働時間が長い部門・事業所がある
2. 全体的に休暇(有休休暇等)取得率が低い
3. 育児休業や介護休業などによる代替要員の確保が難しい
4. 業務の効率や質が落ちる
5. 育児・介護支援などに関する管理職の認識が不足している
6. 仕事と家庭の両立支援制度の導入に伴い、コストが増大する
7. 情報やノウハウ不足により制度の運用が難しい
8. 仕事と家庭の両立支援の効果が、企業として数値等で把握しにくい
9. 公的及び民間の保育・介護サービスが不足している
10. 社会通念上、男性が育児・介護に参加しにくい
11. 休業することによって収入などの面で不安があるため、従業員が利用を望まない
12. 特に問題となることはない
13. その他 ( )



豊岡市マスコット オーちゃん

もう少しですので、最後までおつきあいください。

## V セクシュアル・ハラスメント対策について

問 22 貴社のセクシュアル・ハラスメント防止に向けての**取り組み**についてお答えください。

※①～⑤について、それぞれあてはまる番号に1つつ〇をつけてください。

	既に実施している	実施予定又は検討中	実施する予定はない
① 就業規則などにセクハラ防止の規定を定めている	1	2	3
② 事業所内に相談窓口を設けている	1	2	3
③ セクハラ発生時の対応マニュアルを定めている	1	2	3
④ セクハラ防止に関する研修を実施している	1	2	3
⑤ 資料の配布や掲示により、意識啓発を図っている	1	2	3

上記以外に実施していることがあれば、記入してください。

問 23 貴社においてセクシュアル・ハラスメントが起こった場合、対応として**特に難しいと感じるのはどのようなこと**ですか。※あてはまる**すべての番号**に〇をつけてください。

1. プライバシーの保持が難しい
2. 相談を受ける時に、どういう点に留意すべきかわからない
3. 相談を受けた後、どのように対処したらよいかわからない
4. 当事者の言い分が食い違う等、事実確認が難しい
5. 日常の業務が忙しいため、対応する余裕がない
6. 対応する部署がない。また実際に起こっていないので、分からない
7. 特に難しいと感じていることはない
8. その他( )

問 24 貴社において過去にセクシュアル・ハラスメントで**処分**をうけた**事例**はありますか。

※どちらかの番号に〇をつけてください。

1. うけた事例がある
2. うけた事例はない

## VI 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問 25 国や県、市では、仕事と生活の調和（\*ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けての**取り組み**を推進していますが、そのことについてご存知ですか。※あてはまる**番号**を1つ選んで〇をつけてください。



4. 勤務時間等制度上の困難さ
5. 社長・管理職等の意識の低さ
6. 従業員の意識の低さ
7. 制度導入（※ワーク・ライフ・バランスを実現するための制度）等に対する公的な資金的支援の不足
8. 特にない
9. その他（ )

問 30 ワーク・ライフ・バランスの向上を支援する施策として、行政機関に期待する支援策は何ですか。※あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. ワーク・ライフ・バランス推進の必要性や効果の周知
2. セミナーの開催やアドバイザーの派遣
3. ワーク・ライフ・バランスを導入したい企業へのノウハウ提供
4. ワーク・ライフ・バランスを実現するための制度や支援団体等の情報提供体制の充実
5. 職場復帰支援など他社の優れた取り組み事例の提供
6. 優れた成果を上げている企業の表彰
7. 男性の育児休業促進に向けた企業への支援
8. 保育サービスの多様化と充実
9. 企業の子育て支援に対する助成金などの経済的援助
10. その他（ )

## Ⅶ 男女共同参画に関する今後の取り組みについて

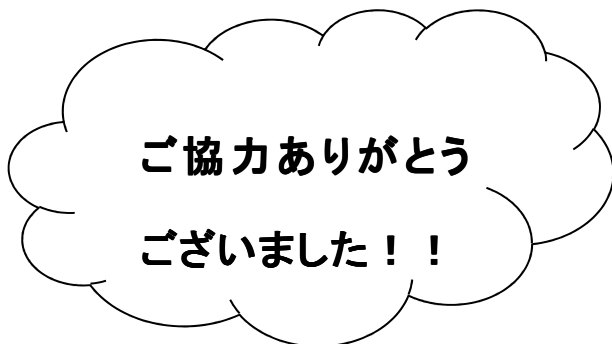
問 31 男女共同参画に関する取り組みが十分でないとお考えの貴社にお尋ねします。貴社は以下のことについて、今後取り組む意向はありますか。※あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 育児休業や介護休業がとりやすい職場環境づくり
2. 女性の管理職登用
3. 女性のキャリアアップのための研修
4. 多様な働き方ができる職場づくり（フレックスタイム、在宅勤務等）
5. 結婚・出産・育児退職者の再雇用制度の導入
6. 男性の育児休業取得の推進
7. 特に予定はない



問 32 男女共同参画の推進や男女共同参画社会づくりを進めるうえで、ご意見、ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

問 33 このアンケート調査について、ご意見、ご感想をお聴かせください。



豊岡市マスコット 玄さん